

保小中一貫教育をとおして 子どもの力を育む上春の教育

保小中共通教育目標

「笑顔あふれる
上春の子」
～心豊かに・未来に向
かう上春の子の創造～

上春別では、へき地保育園・小学校・中学校で一貫教育を推進しており、12年間を貫いた教育目標を定め、つながりを意識した切れ目のない教育活動を行い、子どもたちの発達段階と一人ひとりの特性に応じた学びを大切にしています。

義務教育9年間+保育園3年間の12年間を3つのステージへ

第1ステージ→

保育・1年・2年

集団生活と学習の基礎基本
を身に付ける力

第2ステージ→

3年・4年・5年・6年・中1

主体的に学び、
協働する力

第3ステージ→

中2・中3・次へのステップ

自ら考え行動し、
共に高め合う力

上春別コミュニティ・スクール運営協議会・スローガン

「いってみよう! やってみよう!」 ～ のびのびとチャレンジする上春の子 ～

3つの「つながる」をキーワードに

地域とつながる

協力
団体

「みっかな」「カザミドリ」「わいわいクラブ」「郵便局」
「JA 道東あさひ上春別」「町内会」「駐在所」「陶芸 circle」

ひととつながる

「心」「知恵」がつながる



学びにつながる

「やってみたい」「やってみた」が学びにつながる

コミュニティ・スクール（地域と共にある学校）
「学校運営協議会」の支援を頂き、地域総がかりで子どもたちを育てる。

- ・CS 講座 ・合同避難訓練

異学年交流

人と関わる機会を増やし、自己有用感や責任感を育み、上級生への憧れと下級生への思いやりの心の醸成を図る。

12年間を通したカリキュラム

指導方針や発達段階で育てたい力を共有し、12年間の系統性・連続性のある取組により、確かな学力の定着、向上を目指す。また、架け橋プログラムや外国語教育、ICT教育の充実を図る

学習指導の充実

小中学校間での出前授業や保小学校間での交流活動等、専門性を活かし、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

切れ目のない一貫した支援

12年間を通して子どもを見守り育てる生徒指導体制と問題行動の未然防止と早期発見を図る。また、特別な支援を必要とする子どもたちについて、全教職員で共通理解する。